

障がいのある方へ

福祉タクシー・リフト付きタクシー 初乗り運賃を助成

市と契約しているタクシー会社を利用する場合に、初乗り運賃を助成します。

▼対象者

- 市内に住所があり、次のいずれかに該当する方
 - 身体障害者手帳1級・2級
 - 療育手帳A判定
 - 精神障害者保健福祉手帳1級
- ▼乗車券などの種類**
- 次のいずれかを年度ごとに1人1冊交付します。
 - 福祉タクシー券
 - リフト付きタクシー券

▼有効期限 令和4年3月31日(木)

▼申請方法

4月初旬に対象者へ交付申請書を郵送します。必要事項を記入・押印の上、14ページ(表1)の交付日時・会場に持参してください。身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳もあわせて持参してください。

なお、代理の方でも申請できます。

問・申請(市障害福祉課)

金婚夫婦に祝い状・記念写真を贈呈

結婚50年目を迎えるご夫婦に祝い状と記念写真を贈ります。

申請後、記念写真撮影券を郵送します。券に記載の指定写真店で撮影してください。

▼申請場所

- 市役所 3階福祉課
- 吉川健康福祉センター

▼対象

市内在住の夫婦で昭和47年中ま

たはそれ以前に結婚し、この制度を利用していない方

問・申請(市福祉課)



はり・きゅう・マッサージ 等施術所利用券を交付



身体に障がいのある方が、指定施術所ではり・きゅう・マッサージ・あんま・指圧の施術を受ける場合に、費用の一部を助成します。

▼対象者

市内に住所があり、身体障害者手帳をお持ちの方

▼助成内容

1回当たり1,500円を助成する
利用券を年間12回分交付(利用できる施術所は利用券に記載)

▼有効期限 令和4年3月31日(木)

▼申請方法

14ページ(表1)の交付日時・会場または市役所3階障害福祉課に身体障害者手帳と印鑑を持参してください。
なお、交付は年1回で、代理の方でも申請できます。

問・申請(市障害福祉課)

目録

207

身障者の家族になって

令和2年度「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品

作文 PTA・一般の部 優秀賞

自由が丘東小学校PTA 吉川 敬二

倒に繋がるといふ事で、床はすべてバリアフリーにして明るい色のフローリングにしました。父の生活導線、トイレ、お風呂には手すりを設置しました。

半年近くのリハビリ入院を経て、父が自宅に帰ってきました。

今まで身近でなかった身障者。公共施設やショッピングモールなどがバリアフリー化されてきている事。手すりやスロープの設置が充実してきている事。多目的トイレが増えてきている事。駐車場の優先スペースの幅の広さや2階までしかないエレベーター。今までごく当たり前だけれど、あまり気に留めた事がなかった物が目につくようになってきました。

父が障がい者になって、それぞれの持つ意味が身に染みてわかるようになったのです。

退院後すぐに父を車で連れ出した時の事。免許を取得して初めて優先スペースに駐車させてもらいました。後部座席の父を車椅子に乗せるのに、スライドドアの前まで何も考えずに迎えに行けた時、「そ

ういうことか!」と優先スペースが広く取られている意味を実感しました。また違う日、父を買い物に連れて行った時の事。車椅子での買い物は、なにかと幅を取るの、迷惑にならないよう、お客さんが少なそうな開店時間に合わせて早めに行ってみたのですが、いつも空いているイメージの優先スペースがいつぱいで駐車出来ませんでした。車椅子を利用して人だけではないかも知れませんが、「他のお客さんの邪魔をしたくない」「気がつかわずにゆっくり買物物があった」「など、やはり考えることは同じなのだと思いました。

父を伴って外出する機会がそんなにあるわけではありませんが、どこに行っても親切な対応をしてくれます。

父は商売をしていたので、活気がある場所やそんな場所での買い物が好きです。すぐく迷いました。が、どうしても連れて行ってあげたいという気持ちが強く、明石にある魚の棚商店街に買い物に行く事にしました。凄い人混みで、明らかに通行の邪魔をしているにも関わら

ず、お店の人たちも買い物に来てい

る人たちも、当たり前であるかのよう

に普通に接してくれました。感謝の思いと申し訳ない気持ちで錯綜していましたが、何より父がイキイキとして、とても喜んでくれたのが嬉しかったです。

ひと昔前の日本の建物や住宅は段差が多く、バリアフリーとは程遠い状況でした。しかし、何年もの歳月をかけて、バリアフリー化が当たり前になってきていると思います。でも、日本は欧州諸国などに比べると、まだまだ福祉後進国なのだと思います。

私が子供の頃から人権教育は進化を続け、現在、日本の子どもたちが受けている人権に対する教育や学習環境はとても充実しているそうです。その教育を受けた子どもたちが大人になって、障がい者への社会の理解と寛容さを更に深め、障がい者向けのインフラを充実させ、健常者と同じように暮らしやすい街作りをしてくれる事を期待します。

また、インフラなどのハード面だけでなく、教育によって優しく思いやりのある人格を形成するソフト面でもレベルを上げて、障がい者だけでなく、色んな人に優しく、そして生活しやすい社会作りをしていくって欲しいと思います。